

学校だより



平成 29 年 6 月 30 日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

思いとともに

学校長 石川 秀子

毎朝午前 8 時の開門とともに、二筋の子どもたちの流れができます。一筋は昇降口へ。もう一筋は花壇とその周辺の植木鉢へ向かっています。自分たちが育てている植物に真っ先に「会いたい」という思いの表れなのでしょう。ジョウロにたっぷり水を汲んで上からかけたり、実ったミニトマトを手のひらにそっと乗せ大事に大事に持っていたり、子どもたちの様々な表情やしぐさから一日が始まります。中には顔を擦り付けんばかりに見つめ「そんなに見つめられたら、苗が恥ずかしくなるのじゃないかしら」と声をかけたくなる姿もあります。育てている野菜や草花は、子ども達にとって「もの」ではなく「相手」になっているのでしょう。

以前担任をしていた頃、子どもたちとパンジーを育てました。一人ひとり小さなカップに培養土を入れ、種をまき芽が出るのが待ち遠しく楽しみでした。種をまき終わったとき「誰のものかわかるように名前を付けましょう」と小さな札を配ったところ、自分の名前を書いている子どもはいません。「パンちゃん」など種に名前を付けていることにふと気づきました。「確かに、みんな名前を付けたんだね。」ひとりでに笑みがこぼれたことを思い出しました。

子ども達の活動は、思いとともに広がります。一緒に活動をしていてもそれぞれが考えることや受け止め方は様々です。思いがあつてこそ実体験を通して子ども達は学びを深めることができます。一人一人の思いから学びが始まり、かかわり合うことで思いも学ぶ内容も深まり次の学習活動へとつなげていく場が学校です。

6 月の終わりに「横浜国際平和スピーチコンテスト」と「横浜こども会議」のブロック会議に 6 年生の代表児童が参加しました。自らの体験をもとにより良い社会づくりや友だちとの関係づくりの実現に取り組もうと語る姿がありました。体験や思いを振り返り、消化しながら成長する子ども達です。

プール工事が終わり 6 月末から水泳学習が始まりました。7 月に入ると 4 年生は七沢宿泊体験学習に出かけます。「こんなことがしたい。」「できたらいいな。」「がんばってね。応援するよ。」自分の思いを大切にするように友だちの願いも認めながら活動する毎日を見守りたい 7 月です。

校庭ではアジサイとともにハマユウも咲き始めました。7 月もよろしく願いいたします。

スクールゾーン対策協議会

6 月 20 日 (火)、PTA 役員と校外委員の皆様、町内会長をはじめとする地域の皆様、神奈川区役所地域振興課、神奈川警察署交通課、神奈川土木事務所道路係の皆様にも御出席いただき二谷小学校スクールゾーン対策協議会が開催されました。学区内の危険個所の確認や交通安全対策等について話し合いがもたれました。各委員の皆様には資料作成等の準備ありがとうございました。子どもたちの安全は多くの皆様の協力があつて守られています。お忙しい中御出席いただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。